

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

「伊勢まはた」が 養殖エコラベル(AEL)認証を取得

安全・安心で環境・生態系に優しい養殖業を認証する “養殖エコラベル (AEL) 制度”。この度本県より、三重県海水養魚協議会の「伊勢まはた」が審査をクリアし、認証を取得した。



伊勢まはたロゴマーク

この制度は、一般社団法人日本食育者協会がスキームオーナーとなって平成26年2月に発足したもので、国際基準を満たした基準をもとに、養殖環境から生産・加工・出荷の管理体制などを、独立した認証機関(公益社団法人日本水産資源保護協会)が審査し、基準を満たす養殖水産物へ認証を与えるというもの。

認証には、①生産段階認証と、②流通加工段階認証の2種類があり、①では、確率された管理体制と、環境生態系の保全に適切な措置がとられているかどうか、②では、生産段階認証を受けた対象水産物に、その他の水産物の混入を防止する管理体制がとられているかを、審査される。また、こうした審査をクリアし、認証を取得した事業者は、認証水産物に養殖エコラベルマークを表示して販売

することが出来るため、他の製品との差別化はもちろん、消費者へより一層の安全安心を PR する事が出来る。



養殖エコラベルのロゴマーク
(公社)日本水産資源保護協会 HPより

「第9回錦ぶりまつり」が開催 -4月13日(土) 度会郡大紀町錦-

漁獲量が少なく延期となっていた「第9回錦ぶりまつり」が、4月13日に錦第二魚市場(度会郡大紀町錦)にて開催された。

会場は新鮮な海産物を買求める約3,000人の来場者であふれ、錦漁港で水揚げされた新鮮なブリの他、カキやハマグリ、鮮魚の販売、ブリのべっこうちらしなど旬の産品が販売され、実行委員の漁業者達も地元の魚の魅力に余すことなくPRし、今年も大盛況のうちに終了した。



↑ブリを買求める大勢の来場者

**東紀州2地区で漁師塾を開催予定
- 短期研修生募集中 -**

東紀州地区は、熊野灘の豊かな漁場に面しており、主として定置網漁業が盛んに行われており、地域漁業の中心となっている。

今回、熊野及び紀南地区の将来を担う元気な漁業就業希望者を募集しており、地域の魅力ある漁業を体験できる短期研修（2泊3日）を両地区で開催する。詳細については下記の通り↓

☆ 紀南漁師塾 ☆

- 【体験内容】：定置網漁業等
- 【研修場所】：紀南漁協周辺
- 【宿泊場所】：紀南地区内宿泊施設
- 【対象者】：就業意欲がある40歳未満
- 【開催日程】：2019年6月8日（土）
～6月10日（月）
- 【定員】：4名程度

☆ 熊野市遊木漁師塾 ☆

- 【体験内容】：定置網漁業等
- 【研修場所】：熊野漁協・本所周辺
- 【宿泊場所】：遊木地区内宿泊施設
- 【対象者】：就業意欲がある40歳未満
- 【開催日程】：2019年6月29日（土）
～7月1日（月）
- 【定員】：4名程度

【お問い合わせ】

水産振興室・奥田

TEL：059-228-6670

**「海産養殖魚の飼育管理の手引き」
を養殖業者向けに配布中**

三重県水産研究所では、これまで行ってきた魚病対策等の研究成果と既存の文献データを取りまとめ、三重県海水養魚協議会とともに「海産養殖魚の飼育管理の手引き」を作成した。

手引きでは、魚病を予防するために海産魚の飼育管理で注意すべき点と、魚病が発生した場合に被害を最小限に抑えるための適切な対処についてテーマ別に取りまとめられている。新規に魚類養殖業を始められる方にも分かりやすく、要点や根拠となる研究データ等の知見を「解説」として記し、理解がしやすい冊子構成となっている。

冊子については、三重県海水養魚協議会・事務局より、漁協を通じて養殖業者へ送付している。必要な方はお問い合わせ下さい。

（事務局：奥田 TEL:059-228-1205）



【主な予定】

○4月25日（木）

漁連理事会（10:30 津）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。